

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	二九精密機械工業株式会社 八木第	階数	地上2F
建設地	京都府南丹市	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし(法22条地域)	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年7月 0.0	評価の実施日	2019年12月10日
敷地面積	8,798 m <sup>2</sup>	作成者	池田 泰蔵
建築面積	1,353 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月10日
延床面積	2,569 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇

外観パース等  
 図を参照してください  
 レポートの表紙で解説してくれています。

**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**

標準計算

① 参照値: 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 83% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 83%

④ 上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

**2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)**

**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.0

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.4

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 2.6

**Q3 室外環境 (敷地内)** Q3のスコア = 1.3

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.5

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 4.5

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.9

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.8

<b>3 設計上の配慮事項</b>		<b>その他</b>
総合 建物を北東に配置することにより隣接住宅への影響を極力減らした。		0
<b>Q1 室内環境</b> 開口部を小さくし外気の影響を受けにくく、空調の効果が高まるように設計。	<b>Q2 サービス性能</b> 作業スペースが十分に取れるよう広さを決定した。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内に極力緑地を設けた。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明器具はLEDを採用しエネルギー量の低減を行った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体以外でのリサイクル品の使用を行う。	<b>LR3 敷地外環境</b> 工場内の廃棄物は専門業者に依頼し適切に処理する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される